

モバフロア

MOVAFLOR

フリーアクセスフロア 取扱説明書
モバフロア アルミ

- ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。
- この取扱説明書は必ず保管してください。



株式会社アーレスティ 商品営業部

☆安全のための注意事項



- 目的にあった用途以外には使用しないでください。
- フリーアクセスフロアは荷重性能の範囲内でご使用ください。また、改造しないでください。
システムの破損・変形により、事故・ケガの恐れがあります。
- フリーアクセスフロアは使用条件(用途・荷重・耐震性等)にあわせて、仕様を選定・設計・施工しています。
使用条件を変更する場合は、改めて仕様を検討する必要があります。
- フリーアクセスフロアのパネルは必要なとき以外は取り外さないでください。
人・物の落下や配線をひっかけるなど、事故・ケガの恐れがあります。
- パネル上の表面仕上げ材等を剥がしたままで使用しないでください。
歩行や台車走行時の事故・ケガの恐れがあります。また、パネル基板の損傷につながる恐れがあります。
- パネルの開閉は専用工具で行ってください。
パネルの脱落による事故・ケガの恐れがあります。また、パネルの損傷の恐れがあります。
- パネルを取り外したときは、必要以上に高く持ち上げず、すぐに安全な場所に一時置きしてください。
パネル落下による事故・ケガの恐れがあります。



注意

- パネルを素手で持たないでください。
パネルにはさまれる、エッジなどの先端部で手を切る、などのケガをする恐れがあります。

- パネルを取り外したら、パネル開閉用工具(サッカー、グリルリフター)をパネルから取り外し、開閉用工具をパネルに取り付けままにしないでください。開閉用工具へのつまづきやパネル落下による事故やケガの恐れがあります。また、パネルの損傷・破損、タイルの剥がれやカーペット劣化の恐れがあります。

- パネルは取り外したままにしないでください。やむを得ず取り外した状態が続く場合は、パネル取り外しのできた開口部の周囲に柵などの囲いを設けるなど、落下防止処置をとってください。
パネル取り外しのできた開口部に人や物が落下するなど、事故・ケガの恐れがあります。

- 外したパネルを元に戻すときは、丁寧に扱い、足で蹴り込まないでください。入りにくいときは、周囲のパネルを外側に寄せて、パネルを入れ直してください。
足をケガする恐れがあります。また、設置機器の損傷・フロアシステムの損傷などの恐れがあります。

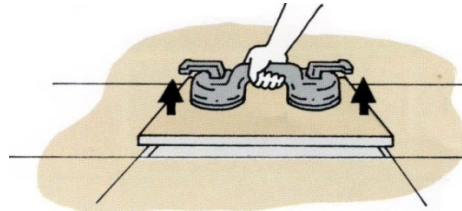
- 外したパネルを元に戻すときは、パネル四隅が完全に納まったことを確認してから使用してください。
パネル段差へのつまづきやパネルの脱落・落下等による事故・ケガの恐れがあります。

☆パネルを開閉するとき

●シールドパネル ビニルタイル1対1貼りの場合

パネルを取り外すときは、専用の開閉用工具(サッカー)をタイル(パネル)中央に押し付け、確実にパネルに吸着されていることを確認し、真上に持ち上げて、取り外してください。

パネルを戻すときも同様に吸着させ、真上に持ち上げて、所定の位置にもどしてください。



パネル外し、パネル戻しが終わったら、直ちにサッカーの吸着を解除してください。

パネルは必要以上に高く持ち上げず、下ろす際は衝撃を与えないようにしてください。

取り外したパネルを一時置きする時は、パネルに衝撃を与えないように静かに下ろしてください。また、降ろした後、引きずらないようにして下さい。

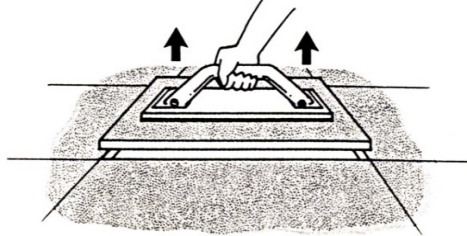
取り外したパネル、その下になるパネル及び表面仕上材を傷つける場合があります。

※「塗装品」「めっき品」「仕上げなし」のパネルも同様にお取扱いください。

●シールドパネル タイルカーペット1対1貼りの場合

専用の開閉工具(カーペット用リフター)をカーペット中央部に押し付け、確実にパネルに吸着されていることを確認し、真上に持ち上げ、取り外してください。

パネルを戻すときも同様に吸着させ、真上に持ち上げて、所定の位置にもどしてください。



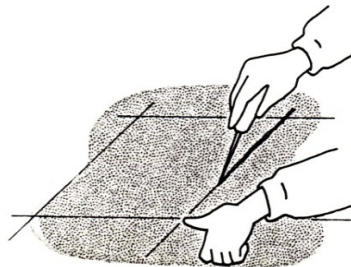
パネル外し、パネル戻しが終わったら、直ちにリフターの吸着を解除してください。

パネルは必要以上に高く持ち上げず、下ろす際は衝撃を与えないようにしてください。

取り外したパネルを一時置きする時は、パネルに衝撃を与えないように静かに下ろしてください。また、降ろした後、引きずらないようにして下さい。

取り外したパネル、その下になるパネル及び表面仕上材を傷つける場合があります。

パネルの頻繁な開閉によりカーペットの目地が荒れてしまったら、千枚通しのような先端の尖ったもので、上から押し込んでください。その際、先端の尖ったものの扱いは十分にご注意ください。指先、手などをケガする場合があります。

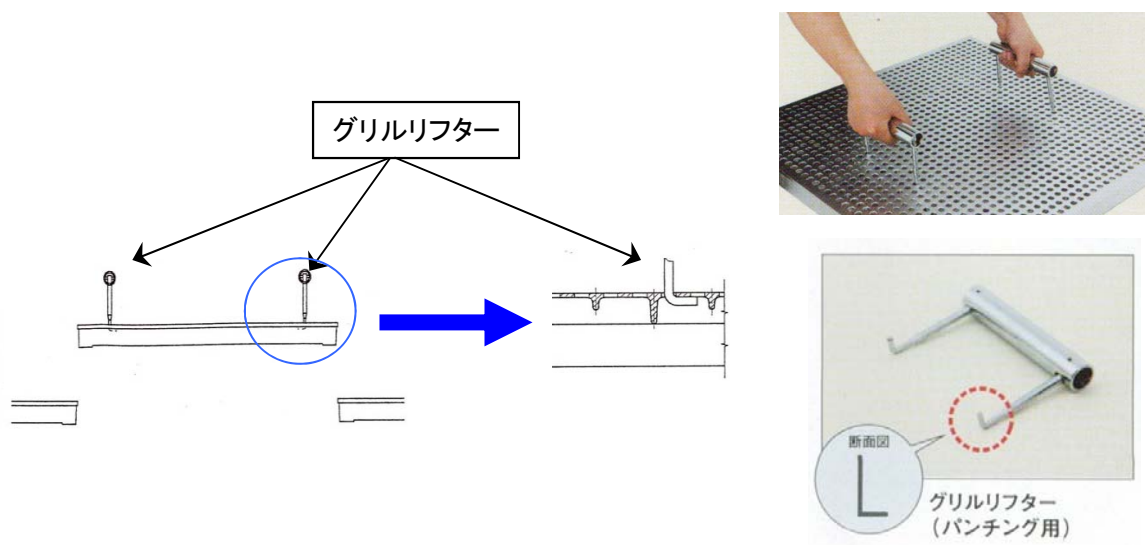


●パンチングパネルの場合

専用の開閉工具（パンチング用グリルリフター）を2台使用してください。

パンチング穴にグリルリフターの先端を引っ掛け、パネルを真上に持ち上げ、取り外してください。

パネルを戻すときも同様に引っ掛け、真上に持ち上げて、所定の位置にもどしてください。



パネルは必要以上に高く持ち上げず、下ろす際は衝撃を与えないようにしてください。

パンチング穴にグリルリフター先端を引っかける際、無理にねじ込まないでください。

パネル及びリフターが破損する場合があります。

パネル外し・パネル戻しが終わったら、直ちにグリルリフターを取り外してください。

取り外したパネルを一時置きする時は、パネルに衝撃を与えないように静かに下ろしてください。また、降ろした後、引きずらないようにして下さい。

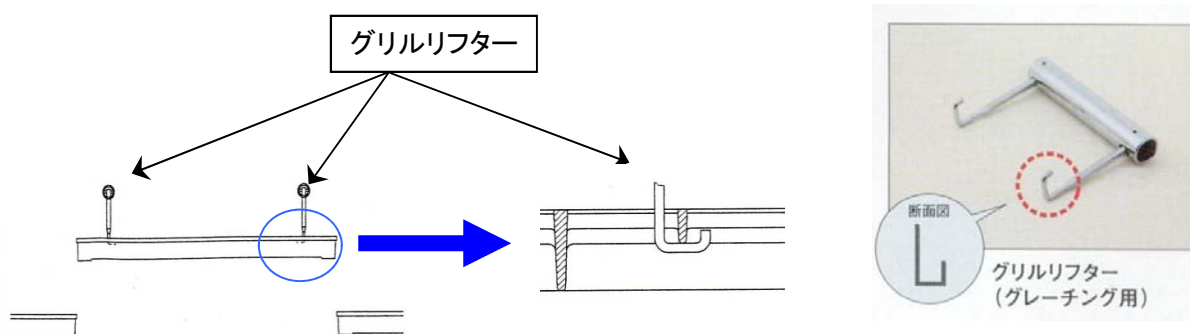
取り外したパネル、その下になるパネル及び表面仕上材を傷つける場合があります。

●グレーチングパネルの場合

専用の開閉工具(グレーチング用グリルリフター)を2台使用してください。

グレーチング穴にリフターの先端を引っ掛け、パネルを真上に持ち上げ、取り外してください。

パネルを戻すときも同様に引っ掛け、真上に持ち上げて、所定の位置にもどしてください。



パネルは必要以上に高く持ち上げず、下ろす際は衝撃を与えないようにしてください。

グレーチング穴にリフター先端を引っかける際、無理にねじ込まないでください。

パネル及びリフターが破損する場合があります。

パネル外し・パネル戻しが終わったら、直ちにリフターを取り外してください。

取り外したパネルを一時置きする時は、パネルに衝撃を与えないように静かに下ろしてください。また、降ろした後、引きずらないようにして下さい。

取り外したパネル、その下になるパネル及び表面仕上材を傷つける場合があります。

☆配線について

●ケーブル等を配線するとき

機器の増設などで床下配線が多くなりパネルの支持脚に配線を絡ませ引っ張ったりしますと、ケーブルが損傷したり支持脚の倒れる原因になります。

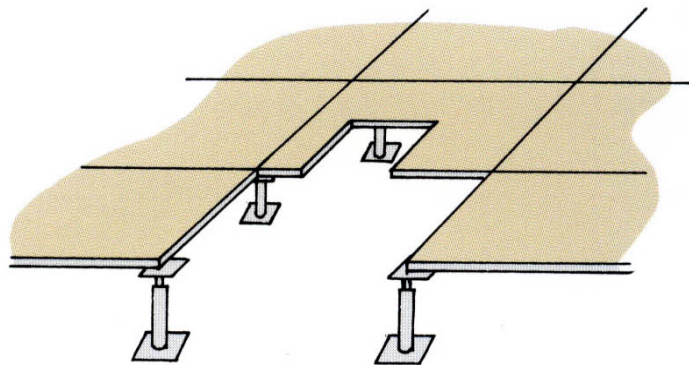
また、コンセントなどをパネルのつなぎ目の真下におきますと清掃時に水を大量にこぼした場合にトラブルや故障の原因となります。

●配線の取出し、コンセントの取付

コンセントの取付、配線の取り出しのためには、パネルの切り欠き加工が必要になります。

切り欠き加工は、パネル強度を低下させますので補強脚を追加する必要があります(有償)。

補強脚の追加については、最終ページに記載の『お問合せ先』までご連絡・ご注文をお願いいたします。



●配線の取り出しは最短距離のパネルから

パネル上に配線を取り出す場合は、接続機器に最短距離となる開口部から取り出すようにしてください。

パネル上に配線を長くはわらせていますと、足や台車をからませることがあります。また美観上も好ましくありません。

●床上のケーブルは…

パネル上に這わせたケーブルにつまずかないようご注意ください。またケーブルを引っ張らないようご注意ください。転倒によるケガや床下の配線器具の破損などの恐れがあります。

●使わなくなった配線取り出し口は…

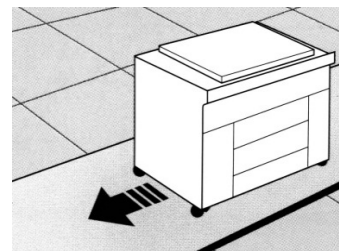
フロアのレイアウト変更などで使用しなくなった配線取り出し口には、フタをする、又は切り欠き加工していないパネルに交換するなど、穴をふさぐ処理を行ってください。

そのままにしておきますと歩行のつまずき、落ち込み等の原因となり、大変危険です。

☆機器類の搬入・設置

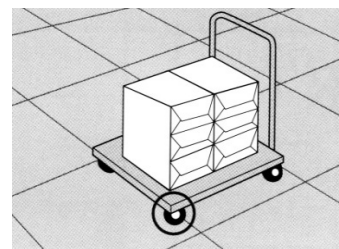
●重量のある機器類の搬入や移動時には…

コンピュータ機器類やOA機器類、デスク、棚などの重い機器類を運び込むとき、またレイアウト変更等で重量物を移動する場合は、床パネルの表面材にキズをつけないために、厚さ9mm以上の養生板を敷いてその上を移動させるようにしてください。また、移動はゆっくりと行って衝撃を与えないようにご注意ください。



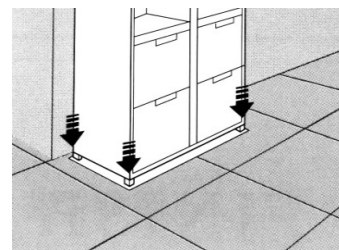
●手押し台車などを使用する時は…

手押し台車などを使い室内に重量物を運び込む場合、手押し台車の車輪径や幅はなるべく大きな機種をお選びください。
また、各車輪への荷重配分にもご注意ください。



●機器の設置

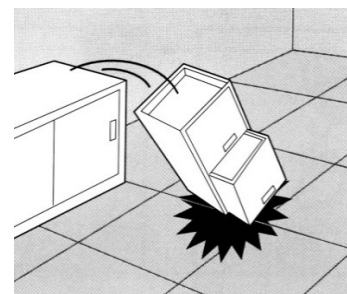
機器を設置する場合には、床に衝撃を与えないようにご注意ください。
フロア部材の変形や破損の原因になります。
重量物のある機器を設置する場合、機器の設置面の面積が小さいと過剰な荷重がかかりますので、必ず受けプレートか厚手の養生板を敷いた上に設置し、 $\phi 50\text{mm}$ 以上の面荷重になるようにしてください。
パネルに偏った荷重が加わるときなど、必要に応じて補強脚を設置してください。



☆日常の注意点

●飛び降り・落下の禁止

机や踏み台等からフロア上へ飛び降りたり、フロア上に重量物を落下させないように十分注意してください。パネルや支持脚が破損、変形することがあります。パネルや支持脚が破損、変形することがあります。



●テープ類の使用

養生テープ等のテープ類を長時間貼り付けたままにしておきますと、粘着力が増し、めっきや塗装が剥がれる恐れがあります。ビニルタイル上にテープを貼った場合、テープを貼った箇所が変色したように見える場合があります。貼り付ける時間は必要最低限としてください。ガムテープについては、一時的な貼り付けでも使用しないで下さい。また、貼付時に荷重を加えると、粘着剤がパネルに残る恐れがありますので、貼付後は荷重を加えないようにしてください。

●ビニルタイルのゴム汚染

ビニルタイル貼りの場合、台車車輪のゴム、イスのキャスターのゴム等により、タイル表面に黒色・茶色等の跡がつく場合があります。これはゴム成分が染み出し、跡をつけると言われています。これを防止するには、染み出しのないゴムに交換するか、板等を使用してゴムとタイルが直接接触しないようにしてください。

●湿度管理について

“モバフロア”施工後、長期間使用せず、部屋が密閉された状態に置かれていいますと、外気温度の変化や建物からの湿気等の影響で結露現象が起きたり、又、清掃時の水分等で湿度が高くなり、カビの発生や電気系統などにも異常をきたす場合があります。

長い間空き部屋状態にしておく場合は室内の換気など空調には十分にご留意いただき、開孔パネルや換気用ファン等により床下の換気にも配慮をお願いします。

また、メラミン化粧板は湿度の影響により変形する性質があります。高湿度下ではパネル表面にふくれを生ずる場合があります。低湿度下では収縮するため、切欠き加工をしたコーナー部にクラックを生じる場合があります。施工後は、すみやかに空調機等をご使用いただき、高湿度・低湿度でない環境を保つようお願いいたします。弊社では、目安として25℃・50%RHでのご使用を推奨しております。

●温度変化による変形

アルミパネルは温度により変形いたします。温度が上がれば膨張し、温度が下がれば縮みます。パネルサイズと温度変化によるパネル辺長の変化量は下表のようになります。

パネルサイズ	温度変化		
	5℃	10℃	15℃
450×450	0.05mm	0.09mm	0.14mm
465×465	0.05mm	0.10mm	0.15mm
500×500	0.05mm	0.11mm	0.16mm
600×600	0.06mm	0.13mm	0.19mm

例えば、
パネル温度10℃ のとき、パネル辺長：600.00mm
↓ (温度変化15℃)
パネル温度25℃ のとき、パネル辺長：600.19mm

パネル1枚あたりの変化量はわずかですが、パネルは連続して並べられますので、部屋全体では大きな変化となります。特に発熱量の大きな機器がありますと、膨張によりパネルを取り外すことが困難になる場合があります。

●お手入れ

- ・日頃の清掃は、電気掃除機で行い、その後固く絞った雑巾、モップ等で拭いてください。
- ・大量の水や洗浄剤を流さないでください。目地から液体がこぼれ、パネル基盤や支持脚の腐食、収納機器の故障の原因となります。
- ・クリーナーやリムーバーを使用するときは、パネルを取り外し他の場所で使用してください。
その場で使用すると、溶剤が支持脚等にかかり、サビの原因となる場合があります。
- ・ワックスを使用する場合は、タイルメーカー指定のワックスをご使用ください。
- ・ワックスを塗ると、漏えい抵抗値を上昇させる場合があります。
- ・四隅をビスで固定するパネルにつきましては、使用環境によっては、長期間の使用によりビスが緩む場合があります。定期的に増し締めを行ってください。

●ビニル系タイルのお手入れ

- ・帯電防止性能を保つためには、タイルの清掃は固く絞った雑巾、モップ等を使用してください。
尚、ワックスは必ず帯電防止用ワックスをご使用ください。
- ・ワックスは漏えい抵抗値を上昇させることがあります。
- ・水拭き程度で落ちない汚れは専用の洗浄液などで古いワックス膜を除去し清掃してください。
その後、床を乾燥させワックスを塗布すると、汚れにくく美しい床面になります。
- ・洗浄液の濃度は汚れの種類や程度によって、適切なものをご使用ください。また、清掃時には必要以上の水分を使用しないでください。溶剤や薬剤をこぼした時は、床材が軟化または変色することがあります。また、腐食、カビ発生の原因ともなりますので直ちに拭き取ってください。

●水をこぼしたら

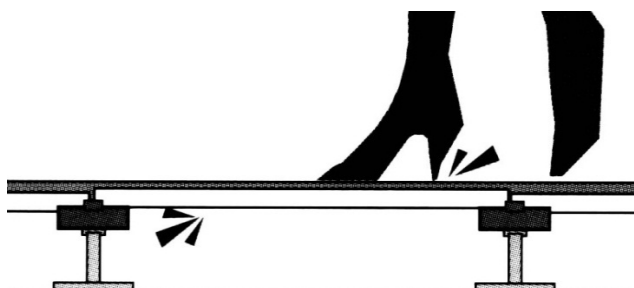
フリーアクセスフロア上に薬品や水等をこぼした場合は、表面仕上材の変質、パネル基板や支持脚の腐食、床下配線機器等の故障の原因となりますので、速やかに除去してください。

大量にこぼした場合は、パネルを取り外して濡れた部分を拭き取り、十分乾燥させ、変質・故障のないことを確認した上で、パネルを元に戻してください。

●ガタツキが起きたとき

支持キャップ及び調整用ナットが緩んでいないか、ご確認ください。

それでもガタツキが解消しない場合は、調整用ゴムパッキンをご用意しておりますので、ご用命ください。



フロアの各部材の交換が必要なとき、レイアウト変更、配線工事等によるパネル加工が必要なときは、下記『お問合せ先』までご連絡・ご注文をお願いいたします。

『お問合せ先』

株式会社アーレスティ 商品営業部

- 関東営業所 [電話] 03-6369-8670
〒164-0012 東京都中野本町2-46-1 中野坂上サンブライトツイン5F
- 関西営業所 [電話] 06-6386-7575
〒564-0062 大阪府吹田市垂水町3-23-26